

令和2年7月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和2年7月31日（金）午後0時20分～午後6時25分

2 場 所 教育センター セミナーホール

3 出席者〔教育長〕大岩幹夫

〔委員〕中川奈緒美（教育長職務代理者）、寺本彰、清水国明、吉本理、
宮本陽子

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、出居正之学校教育部長、市川雅美
教育総務部次長、関根祐一学校教育部次長兼学校教育課長、
森田幸夫教育施設担当参事、池田隆人保健給食担当参事
兼保健給食課長、長谷川陽子教育センター担当参事兼教育
センター所長、糟谷苗美教育総務課長、伊東真吾学校教育
課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、○岩土陽裕指
導主事、○刈谷和哉指導主事、渡野邊拓指導主事

〔書記〕武政直行教育総務課主査、名雪晋祐教育総務課主査

印の職員は、全ての審議に出席。

印の職員は、報告事項終了後に退室。

○印の職員は、議案第5号の審議終了後に退室。

印の職員は、議案第5号の審議のみ出席。

無印の職員は、議案第5号の審議の際は退室。

印の職員は、議案第6号の審議より出席。

〔その他〕所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会委員

岩間健一所沢中学校長、結城尊弘美原中学校長、垣内眞哉
小手指小学校長、佐藤栄一安松中学校長、熊本純利北野中
中学校長、沼田芳行向陽中学校長、鈴木克彦東所沢小学校長
議案第5号の議案説明のため出席。

所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会教科用図書
調査専門員

猪口茂若狭小学校長、吉川英一山口小学校長、井関義邦東
中学校長、宮井俊充小手指中学校長、櫻井誠若松小学校長、
大館直美三ヶ島小学校長、田中俊一松井小学校長、

山下豊狭山ヶ丘中学校長、諸範弘柳瀬中学校長、奥野木直敏安松中学校教頭、米澤三八子並木小学校長、長岡伸一南陵中学校長 議案第5号途中より出席。

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 27名

6 開 会 本日の議題は、請願第1号及び議案第3号から第6号の5件。

なお、議案第6号については予算に関する審議のため、その他の報告のうち、「3年間の中学生の命にかかる重大事案について」および「新型コロナウイルス感染症にかかる追加報告について」は、個人に関する情報が含まれるため、「人事案件について」は人事に関する報告のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議題

請願第1号 中学校教科書採択に係る請願

資料に則り、糟谷教育総務課長から以下のとおり説明がなされた。

本請願の要旨は、「来年度から使用される中学校の教科書の採択において、教員・保護者・子どもの声を参考にすること、歴史・公民・道徳の教科書において、一部特定の出版社の教科書は採択しないこと、採択にあたっては会議及び会議録を公開し、教育委員会として説明責任を果たすこと」の3点を要望するものである。

なお、請願項目の1項目目において、請願に関して教育委員会会議の場において意見陳述ができるよう配慮して欲しい旨の要望があった。意見陳述に関しては、「所沢市教育委員会請願処理規則」第5条第1項に、「請願者は、教育委員会が許可したときは、教育長の許可する時間内において、請願に関する意見を述べることができる」と規定されている。このため、各教育委員には、「教育委員会会議の場において請願者による意見陳述を許可するか」について、事前に確認を行った。「請願書に請願理由が詳細に記載されており、書面のみでも内容が十分に伝わること」などから、全会一致で「請願者による意見陳述は許可しないこと」とする旨の確認が取れ、すでに請願者にはその旨を連絡済みである。

(大岩教育長)

請願に対して意見・質問はありますか。

(吉本委員)

教科書採択というのは、教育委員会委員に委ねられていることであり、公平に見ていかなければなりませんので、特定の発行者を排除するという事は、そもそも受け入れられる要素はないと思いますので不採択と考えます。

(中川教育長職務代理者)

私たちは、展示会参加者や保護者の方々からのアンケート結果等を資料として読ませていただいています。そのような資料を参考にしながら、決定していくものですので、請願項目1に関しては、達成されていると思います。また、会議録は公開されており、会議そのものも公開されていますので、請願項目3についても、既に達成されていることから不採択と考えます。

(宮本委員)

請願項目1で、様々な方からの意見に耳を傾けてほしいと要望していますが、請願項目2では、特定の教科書を採択しないように、と要望されており、論理的に矛盾しているように感じました。教育委員会委員としては、公正で適正に教科書採択を行うためにも不採択でよろしいのではないかと考えます。

(大岩教育長)

その他にご意見はありますか。

《意見はなし》

(大岩教育長)

意見を集約しますと、本件については「不採択」とする意見が多いようですので、「不採択」とすることに、賛成の方の挙手をお願いします。

《全員が挙手》

(大岩教育長)

全会一致で本請願については、不採択といたします。

議案第3号 所沢市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を
改正する条例議案に対する意見について

資料に則り、糟谷教育総務課長から以下のとおり説明がなされた。

市長が令和2年第3回市議会定例会に、当該条例の一部改正に係る議案を提出するにあたり、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第29条の規定に基づき、市長から教育委員会の意見を求められた。本件の条例改正は、当該条例が引用している同法の第23条第1項が改正され、従前の第1号の前に新たな第1号が加えられたことにより、新たな第2号以降の条項のズレが生じるため、新旧対照表のとおり修正するものである。

本件の改正は、条例自体の内容を改正するものではないため、教育委員会の意見としては、「異議なし」と回答する考えである。なお、本件の議決をいただけた場合、9月に開催される市議会定例会に、市長から本件の議案が提出されるが、その際、同法第23条第2項に基づき、市議会からも、今回と同様に教育委員会の意見を求められるため、そちらへの回答も必要となる。

以下、質疑。

(中川教育長職務代理者)

条項が追加されたことによる改正という理解でよろしいでしょうか。

(糟谷教育総務課長)

そのとおりです。

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第4号 所沢市立学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について

資料に則り、池田保健給食担当参事から以下のとおり説明がなされた。

学校給食センター運営委員会委員の任期は2年間で、今年度は改選の時期ではないが、新年度になり委員選出団体の担当替え等により、校長、食育主任、PTA会長、保健所職員、合わせて7名の解嘱と委嘱が生じたため、議案提出を行った。

校長の代表者である1号委員については、小中学校校長会にて、給食担当が決まり、今年度は1名が交代する。食育主任の代表者である2号委員については、食育主任会で1年交代の輪番制としているため、2名が交代する。PTA会長の代表者である3号委員については、所沢市PTA連合会に確認したところ、3名が交

代することとなった。第7号委員の保健所職員については、狭山保健所長に確認したところ、前任者の異動に伴い1名が交代することとなった。結果、令和2年度は、20名の委員中、7名の解嘱および委嘱を行うものである。

以下、質疑。

(吉本委員)

委員の任期は2年とのことですが、今回は出身母体の役員改選により、任期途中で委員が入れ替わったことで、任期は来年の6月までとなっています。今回のように前任者の任期途中で委嘱された場合、1年後の任期満了後、もう1年務めることができるのでしょうか。

(池田保健給食担当参事)

委員の任期は2年であり、再任は妨げないとしています。今回は改選の時期ではなく、出身母体の役員改選により7名が入れ替わったということで、任期は前任者の残りの任期をもって終了しますが、再任される可能性はあります。

(吉本委員)

出身母体の役員改選があると、任期途中で委員が入れ替わることになってしまうので、委員を務めていただいている方に関しては、任期中役員改選されないように、出身母体にお願いはしていないのですか。

(池田保健給食担当参事)

様々な団体がありますので、一律に2年間務めていただくことは難しい状況があります。

(吉本委員)

委員会が形骸化しないように、2年間腰を据えて取り組んでいただきたいという思いで質問させていただきました。

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

8 協議事項 なし

9 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

所沢市教育委員会の7月から10月までの主な行事予定について（教育総務課）

「所沢市議会一般質問答弁要旨 令和2年第2回（6月）定例会」について

（教育総務課）

小中学校学区審議会について（学校教育課）

新型コロナウイルス感染症への対応について（教育総務部・学校教育部）

以下、質疑。

（中川教育長職務代理者）

新型コロナウイルスへの対応に関して、こまめに対策を組んでいただき、ありがとうございます。ここに来て、また先の情勢が見えなくなっているため、今後も臨機応変な対応をお願いいたします。

（吉本委員）

新型コロナウイルスについて、これまで学校現場では、日々変化に対応してきたことと思います。今後も的確に判断していただければと思います。

修学旅行・林間学校の実施については、学校単位の判断とのことですが、教育委員会として判断してあげた方が良いのか、学校単位の方が良いのか、そのあたりの考えを教えてください。

（関根学校教育部次長）

学校行事は、教育課程の編成に関わる部分になり、教育課程は学校で編成することとなっていますので、それを最大限尊重するという考えです。

（中川教育長職務代理者）

現時点で、修学旅行を行うことを決めている学校はありますか。

（関根学校教育部次長）

現時点で、中止の判断をしている数で申し上げますと、修学旅行は、中学校13校、小学校6校、林間学校は、中学校8校、小学校21校が熟慮の上、中止の判断をしています。なお、中学校の修学旅行に関しては、2年生の冬に実施している学校があるため、既に終えている学校もあります。

（寺本委員）

もし、教員に感染者が出た場合、その学校だけ休業しなければならないという

ことが起きるかもしれませんが、あまり全体で統一した対応を決めてしまわない方が、各校の動きが取りやすいのびしろが確保できて良いと思います。

(宮本委員)

土曜日に授業を行うかどうかということも、学校ごとの判断になりますか。

(関根学校教育部次長)

現時点では、夏季休業期間を短縮しているため、授業時数は確保できる予定です。しかし、今後、臨時休業しなければならない状況が起きた場合は、授業時数確保の点で、土曜日に授業を行う可能性もゼロではありません。その際は、学校から提出される承認の願いを受けて、教育委員会事務局で承認していくということになります。

(清水委員)

部活動の際のマスク着用は、どのような指導になっていますか。

(関根学校教育部次長)

外での活動、体育的な活動については、マスクを着用しなくても良いことになっています。

(清水委員)

消毒液のひとつとしてアルコールがあると思いますが、それ以外のものを準備したりはしていますか。

(池田保健給食担当参事)

上下水道局が製造した次亜塩素酸ナトリウム液を学校に配布しています。現在入手困難ではありますが、エタノールの消毒液も手に入り次第、随時学校に配布しています。

県費負担教職員(管理職)の人事に関する内申および 所沢市教育委員会職員
(管理職)の人事異動にかかる教育長臨時代理の報告について

(学校教育課・教育総務課)

《休 憩 午後 1 時 1 0 分 ~ 午後 1 時 3 0 分》

10 議題

議案第5号 令和3年度使用教科用図書の採択について

出居学校教育部長から以下のとおり説明がなされた。

中学校用教科用図書については、本年度が4年に1度の採択替えの年にあたり、採択をお願いするものである。小学校用教科用図書については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条に基づいて、本年度のものを令和5年度まで、継続使用することになっている。

関根学校教育部次長から以下のとおり説明がなされた。

中学校用教科用図書については、令和3年度からの新しい学習指導要領の全面実施に向けた教科用図書の採択の年である。教科用図書の採択については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条第6号、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条に基づき、本市教育委員会で行うことになっていることから、教科用図書の採択をお願いするものである。

令和3年度使用中学校用教科用図書の採択については、「所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則」に基づき任命された7名の校長と学校教育部長からなる選定委員会において、本市の生徒が使用するにふさわしいと考える教科用図書について、教育委員会へ推薦する教科書として選定を行った。

本日は、選定委員会委員が本会議へ参加しており、各選定委員から全ての発行者の教科用図書に関する説明と教育委員会会議に推薦する教科用図書について種目ごとに報告を行う。質疑と協議をいただく中から、来年度から4年間使用する中学校用教科用図書の採択をお願いするものである。また、調査研究専門員代表者も本採択に向けた質疑及び協議に協力するため、参加させていただいている。

今年度採択する教科用図書は、「国語」「書写」「社会（地理的分野）」「社会（歴史的分野）」「社会（公民的分野）」「地図」「数学」「理科」「音楽（一般）」「音楽（器楽合奏）」「美術」「保健体育」「技術・家庭 技術分野」「技術・家庭 家庭分野」「外国語」「特別の教科 道徳」の16種目である。本日は種目別に審議していただき、最後に、本年度の継続使用が決まっている小学校用教科用図書とあわせての採決をお願いするものである。

選定委員会委員長の岩間所沢中学校長より、以下のとおり説明がなされた。

選定委員会は、所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則第2条により、教科用図書について、協議・検討を行い、所沢市教育委員会に報告をす

るものとなっている。専門員による調査研究の報告書は、市内の校長、教頭及び教諭で種目ごとに構成された調査研究専門員会を5月より4回にわたって開催し、作成した教科書の調査研究報告と県の調査資料2を種目ごとにまとめたものである。次に、教科書展示会の期間に合わせ、市内全15校に依頼した学校研究の集計結果、そして教科書展示会参加者からのアンケート、最後に保護者の代表であるPTA会長等に教科書展示会にお越しいただき、回答のあったアンケート結果を掲載している。これらをもとに、また、埼玉県の結果報告等も参考にしながら、選定委員会において2回にわたり協議し、「所沢市の子どもたちにとってふさわしい教科書」として教育委員会に推薦する教科書の選定を行った。

《国語》

選定委員会委員の熊本北野中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「光村図書出版」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、「目標」で学習する内容を明らかにするとともに、その単元で身につけさせたい知識・技能のポイントを「言葉の力」にまとめて示している。また「読むこと」の教材で学んだ表現法や構成等を生かして他の領域の活動につなげるなど、領域を結びつけて多面的に思考できるよう工夫されている。また、身近な場面で陥りがちなつまづきを描いた「学びの扉」を関連教材の前に配置したり、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の題材として、相反する二つの立場から自分の立場を決めて表現する課題を取り入れたりして、生徒が主体的に取り組めるような工夫がされている。

「三省堂」は、「読み方を学ぼう」で具体的な文章の読み方や考え方を図解し、視覚的にも理解を促せるように提示されている。「話すこと・聞くこと」の領域では、各学年の最初の教材として「グループディスカッション」が置かれ、対話による意見の構築や合意形成について系統的に学べるよう構成されている。また、「学びの道しるべ」では、示されたプロセスで学習することで、読みを深めながら自分の考えを持てるように発問が配置されている。「読むこと」で学習した作品の形式を活用して、「書くこと」の課題につなげるといった工夫をすることで主体的な学習を促している。

「教育出版」は、教材末や巻末に語彙を充実させるための記事が配置されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、学習活動の流れの中の一部にポイントを絞ることで、その教材で身につけるべき内容が分かりやすくなっており、教材末の例文で解説する

ことで、学習内容の確認ができるようになっている。「読むこと」では教材前に配置された「学びナビ」で、表現技法や文章構成の工夫などポイントを絞って提示することで、目当てをもった学習活動が行えるよう構成されている。目標と振り返りを明確に示し、学習者が見通しをもって主体的に学べるよう工夫されている。

「光村図書出版」は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」や文法の教材では既習事項のページを示し、系統的に知識が習得できるように配慮されている。教材末の「学習の窓」で習得する学習内容についての簡潔な解説が示され、その内容は巻末でも一覧としてまとめられている。また、「話すこと、聞くこと」「書くこと」の教材には、「つなぐ」という項目が設定され、日常生活や学校生活といった場面での学習内容の生かし方が例示されている。巻頭には各教材でつける力が観点別の一覧表にまとめて示され、1年間の学習の流れや関連性について見通しがもてるよう工夫されている。

選定の結果、国語の教科用図書は最も良いものに「光村図書出版」を推薦する。その次に良いものとして「東京書籍」を推薦する。

「光村図書出版」の選定理由は、系統的に知識が習得できるような配慮がされていること、思考力、判断力、表現力育成のため、各教材末で習得する学習内容について簡潔な解説が示され、その内容が巻末で一覧表としてまとめられていること、普段の生活の中に学習を生かす方法が示され、授業と生活を結びつけやすいことである。

「東京書籍」については、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、「目標」で学習する内容を明らかにするとともに、その単元で身につけさせたい知識・技能のポイントを「言葉の力」にまとめて示していること、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の3つの領域のバランスがとれていることが選定理由である。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

学校からは、「光村図書出版」を薦める意見が多く、「東京書籍」を薦める学校はなかったようですが、その状況で2番目に「東京書籍」を推薦した理由を教えてください。

(熊本北野中学校長)

現場の先生からの意見では、現在使用している教科書が使いやすいことから「光村図書出版」を薦める意見が多くなったと考えられます。現場の意見に惑わされないようにというわけではありませんが、そういった意見だけを反映することがないように、

あくまで教科書そのものの内容の良さを見て判断しました。

(出居学校教育部長)

補足いたしますと、学校の研究結果につきましては、15校中13校が「光村図書出版」、「三省堂」と「教育出版」が1校ずつ、「東京書籍」はゼロという推薦状況でした。「光村図書出版」については、選定委員より説明があったとおり、各校で長く使っていることで、使いやすいという意見から推薦する学校が多かったのだと思いますが、残りの3者は推薦の学校数が1校、1校、0校ということで、学校の希望としてはほとんど差がないと捉えた中で「東京書籍」を推薦しました。

(中川教育長職務代理者)

私が重視しているのは、『書かれていることをきちんと読み取る能力』と『書かれていないことまで想像を働かせる能力』という2つの相反する力を育てなければならぬということですが、「光村図書出版」はそのバランスが取れていて、子どもにとっても系統立てて知識を身につけられるようになっていて、国語を学ぶうえで非常に洗練されていると思います。「東京書籍」も洗練されているという意味では評価できるのですが、現場の先生のご意見を尊重したいと考えます。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者について、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(寺本委員)

「三省堂」を推薦します。生徒に作文の課題が出たときに、得意・不得意関係なく、「これなら自分にもやれる」、「面白い」という設定がなされています。様々な立場や視点で書くことができるというコンセプトが、各学年で共通して扱われています。所沢市の子どもは、学力調査の結果等で、知識的な部分は良いけれども、記述式の問題では空欄回答が多いという課題がありますので、それを解

消するうえで、このような試みのある教科書を使うと良いと考えます。

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい国語」、「三省堂」の「現代の国語」、「光村図書出版」の「国語」の3者が決まりました。候補となった3者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子どもたちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」、3番目にふさわしいと思うものに「3」とご記入ください。1位は3点、2位は2点、3位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、

「光村図書出版」の「国語」が候補となりました。

このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめてご議決いただきます。

《書写》

選定委員会委員の熊本北野中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「教育出版」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、「学習の進め方」を3段階で説明し、生徒が主体的に学習に取り組める構成になっている。また、職場訪問や防災訓練、入学願書など、書写活動を生活に広げることができるよう、題材が工夫されている。さらに、他教科の学習と連動している単元・教材に教科関連マークをつけて「教科横断的な視点」を意識付けしている点も大きな特徴である。

「三省堂」は、目次明けすぐに「学習の流れ」を明示することで、生徒が主体的に学べるよう工夫されている。また、各教材が見開き2ページで構成されており、「学習

目標」から「振り返り」を設置している。更に、学んだ文字を硬筆で練習させることで日常の文字を整える活動に生かすことができるようになっている。「グループ新聞」の作成や「名言集」を作る活動では、言語活動の学習も深められることも大きな特徴となっている。

「教育出版」は、「学習の進め方」が3段階で明確に示され、「考えよう」や「生かそう」では、自分の課題に合わせて学習に取り組めるよう工夫されている。また、「試し書き」「まとめ書き」では、中心線を設置することで書く目安を設定して字形を整える工夫をしている。更に、「振り返ろう」では、「○：できた」「□：もう少し」を選ばせ、自己評価しやすいようになっていることが特徴となっている。

「光村図書出版」も、「学習の進め方」が3段階で構成されている。教材ごとに目標と振り返りを対応させており、課題への取り組み方、まとめ方が明確に示されている。また、行書の教材では半紙と同じ大きさの手本が示されている。更に、切り離して使える「書写ブック」という独自の練習帳では、小中連携の視点を持った練習や硬筆での行書練習を行えるようになっており、毛筆を硬筆に生かし、学びの定着や技能を習得できるものになっている。

選定の結果、書写の教科用図書は最も良いものに「光村図書出版」を推薦する。その次に良いものとして「教育出版」を推薦する。

選定理由は、まず両者とも行書がバランスよく入っていることがあげられる。さらに「光村図書出版」は毛筆学習のあとに硬筆で練習させる工夫があり、生活に生きるようになっていること、切り離して使える「書写ブック」があることによって、家庭での学習にも利用できるなど、学びの定着につながるものがあげられる。「教育出版」は「試し書き」「まとめ書き」で、中心線を設置して字形を整える工夫をしていること、「学習の進め方」が3段階で明確に示され、「考えよう」や「生かそう」では、自分の課題に合わせて学習に取り組めるようになっていること、「振り返ろう」では、自己評価がしやすくなっていることが選定理由である。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

「光村図書出版」を推薦します。行書の扱いが画期的に変わっています。1年生の内容で、「読みやすく速く書くための」という説明で行書が紹介されていま

す。行書をこのような表現で説明しているのは、初めてではないかと思います。行書を積極的に取り上げようという姿勢が出ています。また、都道府県名が行書で書かれていたり、行書と楷書の基本的な点画の違いが示されたりもしています。さらに、1年生の書初め課題で、行書が出てきていることも初めてだと思います。このような作りになっていると、「行書で書けたら楽しいな」という生徒を発掘できるという点と、行書という書体が高校の書道の時間になってから学ぶものではなく、日常的な書体として使っていきたいという姿勢が出ているという点で、この教科書を使っていきたいと思います。

(清水委員)

リズム感を意識して書くというのは、毛筆の一つの特徴だと思います。私もいまだにリズムが頭に残っています。「光村図書出版」は、毛筆の筆使いについて、「トン」「スー」「トン」というリズムを意識する記述がありますが、他にも同じ表現を使っている発行者はありますか。

(吉川山口小学校長)

まったく同じ表現を使っているという発行者はありません。

(中川教育長職務代理者)

「東京書籍」は、「とん」「すう」「ぴたっ」という表現を使っていますね。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(宮本委員)

「東京書籍」を推薦したいと思います。学校からの推薦理由の中に、左利きの生徒への配慮がなされているということがありました。見本を手で隠さず、見ながら写せるような構成になっていることが優れていると思います。

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい書写」、「教育出版」の「中学書写」、「光村図書出版」の「中学書写」の3者が決まりました。候補となった3者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」、3番目にふさわしいと思うものに「3」とご記入ください。1位は3点、2位は2点、3位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、
「光村図書出版」の「中学書写」が候補となりました。

《社会（地理的分野）》

選定委員会委員の沼田向陽中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

はじめに、社会科教科書の各者に共通しているのは、追究する学習課題の視点や学び方が示されており、写真や地図、統計資料、図表等の資料も豊富で、子どもたちの主体的な学びができるよう工夫されている点である。さらに、各分野との関連が図られた構成となっている。

次に、社会（地理的分野）について、発行者一覧の順に説明を行う。現在使用されている教科書は「東京書籍」である。

「東京書籍」は、単元を貫く探究課題、1単位時間の学習課題が設定され、地理的な見方・考え方を身につけるための手立てが示されている。見開きごとに学習内容の基礎的な確認をする「チェック」と内容を要約や短文でまとめる「トライ」が設けられ、言語活動の充実を図りながら、思考力・判断力・表現力等を高められるよう工夫されている。

「教育出版」では、学習課題に対して「読み解こう」を設け、学習内容について資料活用之力や思考力を高めることができるよう工夫されている。見開きごとに学習のめあてと

なる学習課題を提示し、「LOOK」によって導入資料の補足や本文との接続がスムーズにできるよう構成されている。

「帝国書院」では、1単位時間が「学習計画」「確認しよう」「説明しよう」というまとまりで構成され、章や節ごとに学習内容を確認したり、自分の言葉で説明する活動が可能になったりしている。また、各節ごとに写真やイラスト、地図などのその地域の特色がイメージできるような資料を見開きで大きく使い、興味・関心を持たせるよう工夫がされている。

「日本文教出版」では、各章や各節ごとに「ふりかえり」「まとめ」が設定され、学んだことを理解・確認する工夫がされている。見開きごとに「学習課題」が提示され、「見方・考え方」を用いて、何に注目して学習を進めるのか理解しやすいように構成されている。

選定の結果、最もよいものに「東京書籍」を推薦する。理由は先の説明に加え、学校研究の支持も高く、所沢市の子どもたちにとって、「学び創造アクティブPLUS」における授業の構造化に適し、新しい学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の授業を進めるのに適しているからである。その次に推薦するのは、「教育出版」である。理由は先の説明に加え、資料が豊富で大きく掲載されていることである。

以下、質疑・意見。

(中川教育長職務代理者)

地理は中学になると、より大きな視点が求められるようになると思います。埼玉県に関してという部分では、少し取り上げ方が薄い印象を受けるものの、一方で、全国に視点が広がっていると感じさせる部分がとても多いので、「東京書籍」を評価しています。

(吉本委員)

「教育出版」は、「地域のあり方」で多摩ニュータウンを取り上げていたり、「帝国書院」は、所沢市に関する情報が掲載されていたりというように、子どもたちが身近に感じやすいという点では「東京書籍」は少ない印象を受けます。また、北方領土問題に関する内容も「東京書籍」はあっさりしている印象で、他の発行者は、歴史的な意味も含めて取り上げているので、「教育出版」を薦めたいと思います。

(寺本委員)

「東京書籍」を推薦します。世界全体が抱えている難しい問題の根幹をきちんと捉えていて、それを難しくなく生徒が入っていけるように作られています。何についてかということ、

イスラム教についてです。「東京書籍」は、他の宗教と並べながら、ハラルについての説明をトピック的に出していて、イスラム社会について、私たちがより親しみを持てるような道筋を開いています。これはとても大事なことで、これから日本が色々な問題に直面していくときに、イスラム教についての理解を外しては成り立たないと思います。イスラム教ひとつを捉えて言っているわけではなく、日本が社会という分野で今後抱えていく問題の中心をきちんと見据えているという点で、「東京書籍」を推薦したいと思います。

(宮本委員)

「東京書籍」を推薦します。2次元コードから色々な資料を見ることができます。資料を外部のリンクに貼ることで、「こんな世界が広がっているんだ」というように視野を広げていけると思います。自宅や学校など色々な場所で、それを活用することができる可能性があると思いましたので推薦したいと思います。

(清水委員)

2次元コードはどの教科書でも使われていますので、そうなる大切なのは、リンク先の内容の豊かさだと思います。その点で「東京書籍」を推薦したいと思います。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい社会 地理」、
「教育出版」の「中学社会 地理 地域にまなぶ」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、
「東京書籍」の「新しい社会 地理」が候補となりました。

《社会（歴史的分野）》

選定委員会委員の沼田向陽中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「東京書籍」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、1単位時間の学習では、学習のめあてとなる「学習課題」が提示され、「チェック」で基礎基本を確認したり、「トライ」によって要約・説明等の言語活動の充実が図ったりできるよう構成されている。各章の導入部では、小学校の学習を振り返りながら、探究課題を立てることで興味・関心を高め、まとめの活動を予告することで、単元の見通しを持たせている。

「教育出版」は、各章の終わりに、年表や地図にまとめる作業「学習のまとめと表現」が設けられ、学んだことを理解・確認する工夫がされている。本文で学習した内容について、コラム「歴史の窓」を用い、多面的・多角的に考え、課題の解決を促す工夫がされている。

「帝国書院」は、単元を貫く「問い」やそれに対する振り返りの学習が整理され、見通しを持った学習ができるよう工夫されている。各章の終わりに、「章の学習を振り返ろう」が設けられ、時代の特色等を三段階で考えられる構成となっている。

「山川出版」は、美術作品や地図などに描かれているものを手掛かりに、その必然性などを考えながら、時代の背景に結びつくよう工夫がされている。また、

各章の終わりに、「まとめ」が設けられ、時代の変化や政治、経済、文化等の特色を整理できる構成となっている。

「日本文教出版」は、各時代の学習を、大きな資料から「めあて」を示し、それを年表と世界地図を使って概観するなど、意欲・関心を高めるよう構成している。1単位時間の学習の中で、「基本用語」コーナーが設けられ、基礎知識の習得ができるよう工夫されている。

「育鵬社」は、1単位時間の授業で学んだ内容を、章末に設けられた「学習のまとめ」をとおり、自分の言葉でまとめ、日本の歴史を大観していく構成となっている。多彩な特設ページや資料で学習内容の理解を深められるよう工夫されている。

「学び舎」は、1単位時間の学習では学習のめあてとなる課題を提示し、章の終わりに空欄補充の形式で、その学習した内容を振り返る構成になっている。章の導入部に時代の各地の様子を写真や絵を配置して、生徒の興味や関心を引き出す工夫をしている。

選定の結果、最もよいものに「東京書籍」を推薦する。推薦の理由は、先の説明に加え、学校研究の支持も高く、使いやすい点、所沢市の子どもたちにとって、「学び創造アクティブPLUS」における授業の構造化に適し、新しい学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の授業を進めるのに適しているからである。次に「教育出版」を推薦する。推薦の理由は、先の説明に加え、レイアウトが見やすく工夫されているからである。

以下、質疑・意見。

(中川教育長職務代理者)

地理のときも申し上げましたが、中学では世界の視点が求められると考えます。世界の中で日本を見ていくということが必要である点において、「東京書籍」は世界の歴史を適切なページ数で取り上げていると思います。また、時代の配分もバランスよく作られているという印象を受けました。

(寺本委員)

地理と同様に、「東京書籍」はイスラム教の取り上げ方が優れていると思います。コーヒークラスについて触れていて、何でも禁止なのではなく、人間的な楽しみ方を持っている宗教であるということをきちんと示しています。他の発行者は、例えば「山川出版」を読むと、

やはりヨーロッパ中心の書き方に見えてしまいますので、そうではない視点が必要だと考えます。また、第二次世界大戦についての書き方ですが、数をきちんと明示してほしいと思います。例えば、死者数について「東京書籍」は、具体的・客観的に示しています。民間人と軍人の死者数が示され、さらに日本の中には、朝鮮や台湾の人々も含まれているという説明が掲載されています。全体を見渡して客観的に書かれているのは「東京書籍」だと思います。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい社会 歴史」、
「教育出版」の「中学社会 歴史 未来をひらく」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、
「東京書籍」の「新しい社会 歴史」が候補となりました。

《社会（公民的分野）》

選定委員会委員の沼田向陽中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「東京書籍」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、学習課題に対して、本文と写真やグラフ等の関連をとおし、比較や読み取りの視点から基礎的・基本的な知識・技能を習得させる構成になっている。各章の終わりに「探究のステップの問いを解決しよう」があり、言語活動をとおして、見通しをもった学習とまとめが行えるよう工夫されている。

「教育出版」は、見開きで構成された本文ページに、本時のねらいを言葉として明確にした「学習課題」を提示し、課題意識を明確にしていく構成となっている。コラム「公民の窓」により、生徒が興味・関心を寄せながら多面的・多角的に課題の解決を促すよう工夫がされている。

「帝国書院」は、單元ごとに、学習する内容を問形式で提示し、生徒が学習の見通しを持ち、学習意欲を喚起する内容構成となっている。また、1単位時間の学習の中で「学習活動」「確認しよう」「説明しよう」をとおして、学習内容のまとめができるよう工夫されている。

「日本文教出版」は、「チャレンジ公民」や「明日に向かって」のコーナーで物事の考え方や話合いの技能を学ぶことができるようになっている。各章のまとめに、学習内容や知識を使って考えたり、自分の言葉でまとめたりする活動が設定され、表現力や思考力を養う構成となっている。

「自由社」は、各章末にある「学習のまとめと発展」では、その単元の内容を理解できるよう最重要語句を提示し、基礎・基本の定着が図られるようになっている。見開きのページの中に「やってみよう」を多く設け、学習したことをもとに、自分の意見をまとめたりできるような工夫がされている。

「育鵬社」は、各章のはじめに「入り口」のページを設定し、その課題に取り組みながら、まとめでは「入り口」で示された課題を受け、その章で学んだ内容を生かした取組ができる構成となっている。各章末の「学習のまとめ」で、重要語句のチェックや、学んだことを自分の言葉で表現できるよう工夫されている。

選定の結果、最もよいものに「東京書籍」を推薦する。推薦の理由は、先の説明に加え、学校研究の支持が高く、所沢市の子どもたちにとって、「学び創造アク

ティブPLUS」における授業の構造化に適し、「主体的・対話的で深い学び」の授業を進めるのに適しているからである。その次に「教育出版」を推薦する。先の説明に加え、レイアウトに工夫がなされているからである。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

難民の問題をどのように取り上げているかを比較してみました。「教育出版」と「育鵬社」は、緒方貞子さんの写真が使われていて、日本人はこの問題で頑張っているんだ、という感じで終わっている印象です。「日本文教出版」と「帝国書院」は、難民問題を人道的にやらなければならないんだ、というだけで、難民問題が持つヨーロッパでの難しさなどについて触れていません。「東京書籍」は、難民の問題がしっかりと取り上げられていて、「考える」という視点のところで、ドイツが移民・難民を受け入れている理由や受け入れの結果ドイツ国内でどのような課題が出ているか、というところまで踏み込んでいます。日本が将来、難民を受け入れなければならない状況になったときに、どのような困難が生じるかということを押えています。また、南スーダンについて、NGOで活動している人がいるというコラムも作っています。「世界の中での日本の立ち位置を、中学生の皆さん考えてくださいね」という立場をとっている教科書は「東京書籍」だと思います。

(宮本委員)

公民というと、法律など大人に関する事柄のように感じられる内容で、子どもが身近に感じづらいものにも受け取れますが、そのような中で、子どもの権利条約について触れている部分を見つけたため、その部分に注目して比較してみました。「東京書籍」も「教育出版」もコラムで触れていて、子どもたちが悩んだときに、自分たちに関する身近なものがあるんだということを知るというものになる、という視点で捉えました。

(清水委員)

教科書に書いてあることは建前で、2次元コードはアクセスした先で色々な声が聞けるというイメージがあります。テレビには放送コードがありますが、YouTubeで情報発信している人たちは、自由に意見を述べていて、YouTubeで真実を知るようなこともあります。今は、教科書を読んで、教科書の中だけで解決する時代ではないと思いますので、アクセスした先にある情報が、精査されたものでなければならないと思います。また、その情報が、教科書の資料の一部を閲覧できるだけの内容ではもったいないと思います。全く対極の意見を知ることができるのか、「教育出版」のように生徒の自主学習をサポートする形になっているの

は良いと思いましたが、「東京書籍」の2次元コードの使い方も良いと感じました。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(中川教育長職務代理者)

「日本文教出版」を推薦します。法や金融に関する学習のところで、一番実利的な実例を提示しています。ネット社会やビッグデータを取り上げていて、実用に即した視点が良いと思いました。

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい社会 公民」、「教育出版」の「中学社会 公民 とともに生きる」、「日本文教出版」の「中学社会 公民的分野」の3者が決まりました。候補となった3者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」、3番目にふさわしいと思うものに「3」とご記入ください。1位は3点、2位は2点、3位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、

「東京書籍」の「新しい社会 公民」が候補となりました。

《地図》

選定委員会委員の沼田向陽中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「帝国書院」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、地理的分野の世界・日本の諸地域の学習展開に沿った活用しやすい資料が扱われ、思考を問うまとめができるよう構成されている。「一般図」「基本資料」「テーマ資料」の配列により、順を追いながら知識や技能の習得を図り、資料を学習課題と関連付け学べるよう工夫されている。

「帝国書院」は、自然、農業、工業、人口、交通、歴史などのテーマで、地図と資料をふんだんに組み合わせ、考える力を伸ばす工夫がされている。「一般図」「鳥瞰図」「資料図」の並びで構成され、親しみやすいイラストを掲載した鳥瞰図によって地域を大観することで、「一般図」での読み取りがしやすいよう構成されている。

選定の結果、最もよいものに「帝国書院」の1者を推薦する。選定の理由は、先の説明に加え、主体的に学ぶ学習を行う際に、地図と資料がふんだんに組み合わせられ、思考を伸ばす工夫がなされているからである。

以下、質疑・意見。

(中川教育長職務代理者)

両者で大差はないように見えますが、あえてあげるとすると「帝国書院」の方が、サイズ感が良いと思いました。地図は、パッと見て惹きつけられて、自分が住んでいる場所を探ることが楽しいものです。狭い中から探すよりも、広い世界の中で自分の場所はここだと探す経験が、子どもにとって楽しいと思いますので、その点で「帝国書院」の方が良いと思いました。

(宮本委員)

資料を見たときに、「帝国書院」の方が新しいデータを使っている印象を受けました。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者については、候

補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(寺本委員)

「東京書籍」も選択肢に入れて、2者から選ぶ形にしていただければと思います。「東京書籍」は、領土の問題に関して、空白地帯であるという書き方はしていませんが、樺太の真ん中に線を入れていて、ここが完全にロシアの領土というわけではない、という意思表示を出している作りになっています。また、関東地方の資料を比べると、「帝国書院」の130ページはヒートアイランド現象を取り上げていて、「東京書籍」の129、130ページは、関東地方の在留外国人の分布と情報サービス業の全国の従事者数の分布が取り上げられています。両者とも、時代が抱えている地理的なファクターを探そうとしていて、地図の全体を見ると、レイアウト等にそれほど変わりはないので、1者だけでなく2者から選んだ方が良かったと思います。

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい社会 地図」、
「帝国書院」の「中学校社会科地図」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、

「帝国書院」の「中学校社会科地図」が候補となりました。

《休憩 午後2時50分～午後3時》

《数学》

選定委員会委員の垣内小手指小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「啓林館」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、めあてを意識できるような「学習課題」が設定されている。「章とびら」では、日常生活をイラストと「問いかけ」で示し、主体的に取り組めるようにしている。「深い学びのページ」では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする言語活動の充実を図っている。本市の生徒にとって、主体的に学習に取り組みせ、思考力・判断力・表現力を育成できると思われる。

「大日本図書」は、「章の導入」は、見開きページでイラストや写真を提示している。「問題を見いだそう」から「深めよう」までの、4つの段階に分けて学習計画を構成している。

「研究をしよう」は、具体的なまとめの方法や書き方が示され、表現力が高まるよう工夫がされている。本市の生徒にとって、主体的に内容を判断し、実生活に即し表現する力を育成できると思われる。

「学校図書」は、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、「数学的活動」のページが設定されている。章末の「さらに学んでみたいこと」では、振り返りや今後の学習につながる構成である。「章のまとめ問題」では、習熟度に応じた学習活動が展開できるように工夫がされている。本市の生徒にとって、思考力・判断力・表現力を向上させ、課題解決の喜びを味わうことにつながると思われる。

「教育出版」は、導入課題「Let's Try」で、興味・関心を持つ工夫がされている。「工夫してノートを書こう」では、考えや気づきなど、ポイントが紹介され、思考力や表現力を育む例が紹介されている。本市の生徒にとって、数学への興味・関心を向上させられると思われる。

「啓林館」は、教科書の構成が「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部制になっており、問題を発見し、解決するまでの流れが工夫されている。利用の節では、場面に分け、身のまわりの場面から解決までを見通しをもって学習できるよう構成されている。2次元コードの利用で、解答だけではなくヒントをもとに習熟に応じた学習が可能である。本市の生徒にとって、思考力・判断力・表現力を向上させ、課題解決の喜びを味わうことにつながると思われる。

「数研出版」は、「ノートの作り方」に考えたことや感想、振り返りの例があり、表現

力が高まるように工夫されている。補充問題や参考資料を「Link」で示し、インターネット等を利用して調べることができる。本市の生徒にとって、数学的な見方や考え方を育成し、課題解決の喜びを味わうことにつながると思われる。

「日本文教出版」は、「章の扉」で学びの必要性・ストーリー性を重視し、興味・関心を促すための場面が設定されている。「学び合おう」では、主体的・対話的で深い学びが実現できるように構成されている。本市の生徒にとって、主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力が向上できると思われる。

選定の結果、最も適しているのは「啓林館」である。生徒が主体的に学べるように、節の導入の「学習のとびら」では、身のまわりの題材が取り入れられている。そして、利用の節では、利用場面を4段階に分け、身のまわりの場面から問題を発見し、解決するまでの見通しをもって学習できるよう構成されている。学校研究では、授業を行う教員から「数学の考え方を身のまわりの事象に生かす例が多く載っている」という意見があるように、生徒がやってみたいと思えるような必要感のある学習課題が見られる。また、ユニバーサルデザインの視点で、本文は、見やすい紙面と単語の途中での改行を避ける工夫により、生徒が分かりやすいように構成されている。選定委員の多くが推薦に賛成した。

次に適しているのは「東京書籍」である。生徒が関心・意欲をもって学ぶよう、「章とびら」で日常生活の場面を1コマのイラストと「問いかけ」で示している。身の回りの具体物の写真が多く、数学と日常生活を結びつけて、興味・関心を高められ、主体的に学ぶことができる。自ら考えた見方・考え方を振り返り、自分の言葉でまとめる機会が設けられている。

「深い学びのページ」では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする言語活動の充実を図る構成となっている。先に説明した啓林館と比べると、推薦の度合いは高くない。以下、質疑・意見。

(中川教育長職務代理者)

数学はデジタルコンテンツと相性が良いと思いますので、その点の充実度を見させていただいたところ、「啓林館」と「数研出版」はとても充実していて、好感が持てました。「啓林館」は、改行などが工夫されていて見やすい印象を受けました。「東京書籍」も洗練されていて見やすいのですが、デジタルコンテンツの部分で「啓林館」が良いと考えています。

(寺本委員)

教科書展示会のアンケートで、一般の方から「外国人の日本語支援をしていて、「啓林館」の教科書のみ、用語の定義を色付きの背景にして枠で囲み、用語を太字で示して、とても分

かりやすいデザインになっているので、勉強がさせやすい」というコメントがあります。内容の部分では、2年生の教科書で、四角形を三角形に変える等積変形と2点の座標から式を求める部分の説明を比べてみたのですが、ほとんど差がありませんでした。強いて言えば、「日本文教出版」は、五角形を三角形にするという課題を出しているのですが、それは面白いなと思いました。反対に、「東京書籍」は、四角形から三角形にするところの面倒見が良すぎて、言われたとおりに進めると、できたつもりになってしまう怖さがあるので、総合的に見ると「啓林館」が良いと感じました。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい数学」、「啓林館」の「未来へひろがる数学」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、

「啓林館」の「未来へひろがる数学」が候補となりました。

《理科》

選定委員会委員の岩間所沢中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「啓林館」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、「問題発見」で写真やイラストを大きく掲載することで、目的意識を持って学習に取り組めるように、また、「Before & After」で、学習前後の自らの思考の変化をとらえられる工夫をしている。言語活動の視点としては、「課題に対する結論を表現しよう」で、結論を自分の言葉でまとめることで、自分の考えを明確化し、言語活動の活性化を図る工夫をしている。

「大日本図書」は、「問題を見つけよう」において課題に気づく場面を設定し、既習事項から次の課題を把握できる工夫をしている。また、キャラクターの吹き出しで、比べ方や異なる観点を示し、多角的・多面的な視点で思考できるように工夫をしている。言語活動の視点としては、「話し合おう」での「話し合いのしかた」をもとに、自分の意見を相手に伝えられるように工夫している。

「学校図書」は、実験のページの冒頭に実験の手順を示すことで、生徒の探究心を高め、意欲的に取り組める工夫をしている。また、「学びのあしあと」で学習前後の自己の変化を振り返ることができる工夫をしている。言語活動の視点としては、巻末に「学びの交換アイデアボード」を設け、自分の考えをまとめて可視化し、それをもとに話し合い活動ができるように工夫されている。

「教育出版」は、「課題」と「結論」を強調し、吹き出しで課題解決への視点を示すことで、生徒が「見通し」を持てるよう工夫されている。また、「学んでいくこと」で学習内容とその流れを端的に示し、「学習前の私」「学習後の私」で、考えの変容に気付くことができるよう工夫されている。言語活動の視点としては、「話し合おう」では話し合いの視点を示し、グループ内での対話が生まれるよう工夫されている。

「啓林館」は、鮮明な写真を大きく掲載して生徒の関心を高め、「ためしてみよう」で身近なものでできる実験を示し、生徒の学習意欲を高める工夫をしている。また、身近な問い

からその単元を貫いた学習内容の見通しが持てる工夫がなされている。言語活動の視点としては、「みんなで解決」で、仮説や計画を立てる話し合いや、知識を活用する身近な問いで、対話が生まれるよう工夫されている。

選定の結果、最も良いものに「啓林館」、その次に良いものとして「東京書籍」の2者を推薦する。推薦理由としては、先ほどの説明に加え、5者ともに理科における今回の学習指導要領改訂の基本的な考え方である「科学的に探究する学習」の充実を図るような構成となっているが、この2者については、特に探究の過程の定着を一貫して図ろうという工夫があり、本市の子どもたちにとって、主体的・探究的な学習ができると判断したからである。

具体的には、「啓林館」は、探究実験を各単元に用意し、教科書末の「探究の流れと探究のふり返し」に常に立ち返り、単元を越えて探究の過程を定着させようという工夫等がある。

「東京書籍」は、科学的な調べ方を一貫して取り入れた構成とし、教科書左ページ最下部に、どの段階の学習をしているかを表示し、生徒が把握しやすい工夫等がある。なお、2者についての優先順位にほとんど差はない。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

「東京書籍」の方が詳しいところと「啓林館」の方が詳しいところと、それぞれありました。光合成と呼吸について説明しているページ数で見ると、「東京書籍」に比べて「啓林館」の方が、多少あっさりしています。また、圧力に関する説明で、「啓林館」は、スノーボードを「履いている・履いていない」によって、「沈む・沈まない」の差を説明しています。「東京書籍」は、男の子とつま先立ちしているバレリーナと象を比べて、一番圧力が強いのはどれかを考えさせています。好みの問題かもしれませんが、身近な問題をあっさり扱っているのが「啓林館」で、色々と手を変え、品を変え、考えさせているのが「東京書籍」という印象です。あまり差がないのであれば、学校研究における先生方の考えを尊重して、推薦度が高い「東京書籍」の方を推薦しようと考えています。

(宮本委員)

「東京書籍」が良いと思いました。資料がとても豊富で、理解しやすいという点と、写真が興味を引くように配置されていて、「面白そうだな」とか「何だろう」と思うような作りになっています。内容も説明的ではないので、自分で考えて導いていくという構成を目指している印象を受けました。高校に繋がるような先の学びもコラムで載っていて、将来に向かって自分の興味・関心を広げていけるような作りになっている点が良いと思いました。

(寺本委員)

高校へのつながりは「啓林館」もあるのですが、中身を比べてみると「東京書籍」の方が将来的に考えさせる内容になっていると思います。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい科学」、「啓林館」の「未来へひろがるサイエンス」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、

「啓林館」の「未来へひろがるサイエンス」が候補となりました。

《音楽（一般）》

選定委員会委員の佐藤安松中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「教育芸術社」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「教育出版」は、表紙絵は独特な色彩の下平晃道の温かい絵が描かれている。表紙裏には日本の歌唱共通教材が美しい写真とともに掲載されている。また、題名下にある学びリンクより、映像及び演奏を視聴することができる。今回の特徴としては学びのユニットがあり、分かりやすく学びと音楽の要素、共通事項などが円で示されている。また、例えば「花」の楽譜の左側には、ねらいを示し、その下には「比べてみよう」、「深めてみよう」という表示がある。「比べてみよう」のページにとぶと「荒城の月」、「深めてみよう」では「荒城の月」「椰子の実」といった日本の曲を発展し学習できる工夫がされている。ワークシートには自分の考えを直接書き込め、話し合おうというコーナーもあり、学び合いの学習ができるようになっている。またCMソングを作ろうという活動では、創作に取り組みやすい教材が掲載されている。全体を通して、音楽科の深い学びの実現を目指した工夫があり、音楽文化の理解を深める学習ができるようになっている。教材の解説も具体的で細かく丁寧にされている。

「教育芸術社」は、イラストレーター・ふすいが中学生の心情を上手に描いている。2・3下の教科書表紙裏には、中学生の好きな合唱曲「春に」の作曲家・木下牧子と作詞者・谷川俊太郎の思いが載せられている。また、マリアカラスの迫力ある写真、そしてメッセージもインパクトがある。「学習内容」には歌唱・創作・鑑賞といった、分野を横断した関連図で示されていて、生徒が見通しをもち学習をすることができる。心の歌・歌い継ごう日本の歌として富士山をイメージしたマークで共通教材を示している。「レッツクリエイト」創作では、自分のリズムから二人で合わせて楽しめるような工夫がある。ポピュラー音楽を取り入れ、さらにロック、ジャズ、ヒップホップ等海外の音楽にも興味を持てるような工夫も見られる。また、日本を代表する指揮者・山田和樹については、二次元コードからプロフィールや演奏など視聴できるようになっている。全体を通して、学習の流れを見通しながら、主体的・対話的な深い学びを引き出し、音楽科の確かな学力を育む工夫がされている。

選定の結果、最も適しているものに「教育芸術社」の1者を推薦する。選定理由は、生徒が1年間の見通しを持ち、何を学ぶのかも理解することができ、生徒と先生の吹き出しのコメントにより、課題解決へのヒントを考える手立てとなる点である。また、教材の左に、ねらいや何を学習するのかなどが示してあり、音楽を形づくっている要素（基礎・基本）を意識して教えることができるようになっている。なお、選定委員の多くが推薦に賛成した。

以下、質疑。

（大岩教育長）

ご意見、ご質問はございますか。

《特になし》

（大岩教育長）

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者について、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

（大岩教育長）

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

（寺本委員）

「教育出版」を推薦します。推薦されている「教育芸術社」は、合唱王国である所沢市の伝統に則った曲選びになっていると思います。それは、よく分かります。「教育出版」は、有名ではない曲が入っていますが、今後の音楽の味わい方と考えると、コロナウイルスによる影響で、合唱などのパフォーマンスがどうなるか分からない状況で、ソーシャルディスタンスを保って小グループでできる授業で扱うとしたら、このような試みは面白いと思います。なぜかというところ、「教育出版」は、コードネームの表示に工夫がなされていて、おしゃれなコードがたくさん使われています。「普通はこうやるんだけど、ここにこの音を入れるだけでも、随分おしゃれになるね」ということが、この教科書を使えばできるようになると思います。今までの所沢の合唱の流れというのは、生徒がよく授業で使っているコーラスフェスティバルという副読本を使えば、全てできると思いますので、将来の音楽の味わい方の形として、あえて「教育出版」のような試みがあって良いのではないかと考えて、推薦したいと思います。また、音楽著作権の問題についても比較してみましたが、「教育芸術社」が一般的な説明であるのに対して、「教育出版」は、実際に生徒がクラスソングを決めて、それをCDにしたという場合の問題点を示していて、具体的であると思いました。

(宮本委員)

「教育芸術社」は、載っている曲がポップスであるとか、子どもたちが興味・関心を持ちやすいような曲が多く、見ていてとても楽しい内容です。「教育出版」は、知らない曲が多いのですが、実際にリコーダーで吹いてみると、味わいのあるアンサンブルができるのではないかと、思うような曲があり、それぞれの教科書で目指しているものが違って、どちらが良いか決め兼ねている状況です。

(中川教育長職務代理者)

公教育における音楽というのは、できるだけ多くの子どもたちに関心を持ってもらうことが大切だと思います。「教育出版」は、興味を持った子どもにとっては、とても惹かれるようなマニアックな視点が多くて、私も惹かれる部分があるのですが、やはり公教育の音楽ということでは、浅く広くと言いますか、例えば、芸術的鑑賞教材の数も「教育芸術社」の方が多く掲載されています。まずは間口を広く、という視点から見ても「教育芸術社」の方が良いのではないかと思います。

(大岩教育長)

ただいまの協議により、「教育出版」の「中学音楽 音楽のおくりもの」、「教育芸術社」の「中学生の音楽」の2者を採択の候補とします。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、
「教育芸術社」の「中学生の音楽」が候補となりました。

《音楽（器楽合奏）》

選定委員会委員の佐藤安松中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「教育芸術社」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「教育出版」は、表紙裏で目次とは別に写真とページを掲載し分かりやすく楽器の紹介をしている。リコーダーは、楽器の構造や奏法、各部の名称が写真やイラストで示されている。小学校で既習したソプラノリコーダーと中学校で手にするアルトリコーダーのアンサンブル曲「メリーさんの羊」など、充実している。「何が同じで何が違う」では同じ種類の楽器を聴き比べ自分の意見を持ち、その結果を友達に紹介し、話し合う活動ができる。学びリンク、二次元コードからは「発展」のページにある楽器をさらに広げ、写真にあるようにより多くの世界中の楽器を紹介している。所沢市内中学校が多く使用している箏では、さくらさくらの合奏や、レッツトライ「もののけ姫」の楽譜があり発展的な学習ができる。全体を通して、学習した知識・技能を生かし、個に応じた発展的な学習を進めることができる資料が豊富に示されている。

「教育芸術社」は、表紙裏で今注目されているピアニストが中学生の心に響くメッセージを送っている。学習指導要領の「内容」に示された指導事項が表で分かるように「学習内容」を示している。リコーダーの基礎的な奏法について、具体的で見やすい資料が示されている。「かっこう」では、中学校で導入するアルトリコーダーと小学校で既習したソプラノリコーダーとアンサンブルができる。箏のコーナーでは、箏の曲を聴いたり演奏したりした後、さらに発展させて、マイメロディーで旋律を作ることができる。また様々な打楽器について解説されているページがある。ドラムセットをはじめ、吹奏楽部で使用する打楽器の演奏法が細かく写真で示されている。生徒がリコーダーで演奏してみたいと思う曲「笑点のテーマ」「魔女の宅急便」「ディズニー美女と野獣」などを取り上げている。全体を通して、音楽科の幅広い知識や技能を得られるような工夫がされている。また、写真や図等が豊富で、ユニバーサルデザインに配慮した紙面になっている。

選定の結果、音楽の教科用図書は、最も適しているものに「教育芸術社」の1者を推薦する。選定理由は、所沢市ではほとんどの小学校でソプラノリコーダーを既習し、アルトリコーダーも15校中12校の中学校が授業で扱っていて、そ

の両方を演奏しアンサンブルできる曲が充実していること、また15校中全校が箏を体験するが、箏の曲や発展的な曲も充実している点である。なお、選定委員の多くが推薦に賛成した。

以下、質疑・意見。

(大岩教育長)

ご意見、ご質問はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者について、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(寺本委員)

「教育出版」を推薦します。6ページのリコーダーの楽譜で、Cmaj7、Am7、Fmaj7、G6のコードネームが使われていて、これなら伴奏を簡単に教えられますので、片方の子が鍵盤を弾いて、片方の子がリコーダーを吹いたら、鍵盤を弾いている子は、「これは、面白いな」と絶対思いますよね。1年生の段階で使えると思います。このような工夫が、あえてあるのが「教育出版」で、「教育芸術社」は、出てくるのが37ページの「カントリーロード」のところですよ。なお、「カントリーロード」のコードネームは、両者でほぼ変わりなく、簡単な曲から入るのが「教育芸術社」です。

(中川教育長職務代理者)

音楽(一般)では「教育芸術社」を推薦しましたが、器楽に関しては迷っています。その理由は、器楽になると子どもの興味が、ただ単なる音楽というよりも、楽器に興味を持つなど色々な興味の引かれ方が出てくると思うからです。そういう意味では「教育出版」は、色々な切り口があります。楽器そのものにも興味を持たせようとしたり、日本の音楽文化を俯瞰するような見方があったりなど、音楽そのものではないところからのアプローチが、逆に面白いなと感じます。迷っていますが、最終的には、学校研究での先生のご判断を尊重しようかと考えています。

(大岩教育長)

ただいまの協議により、「教育出版」の「中学器楽 音楽のおくりもの」、「教育芸術社」の「中学生の器楽」の2者を採択の候補とします。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、
「教育芸術社」の「中学生の器楽」が候補となりました。

《美術》

選定委員会委員の佐藤安松中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「日本文教出版」である。はじめに、学習指導要領の目標の達成に資するという観点から、発行者一覧の順に、特徴をそれぞれ5点ずつ説明する。

「開隆堂出版」は、学ぶ内容や学習の魅力などのメッセージを領域ごとに設け、各学習活動の意味や目的を考えることができるように工夫されている。各題材の「学習の目標」に発想や構想に関する目標を示すとともに、学習を深めるための「学習のポイント」や発想・構想の方法、学習の進め方のアイデアが示されている。各題材で「美術の用語」が示されており、基礎的な知識や技能について効率よく習得できるように配慮されている。協働して活動する題材を複数取り上げ、生徒同士のコミュニケーションや言語活動が深められるようになっている。各領域・各題材のつながりを意識し、学習の流れを大切にした構成となっている。

「光村図書出版」は、生徒の制作過程を詳しく紹介したりすることで、生徒が自分の表現に生かすことができるよう工夫されている。多様な発想の手法を紹介し、生徒が発想や構想を広げ、深められるように工夫されている。一つの題材で「表現」と「鑑賞」を一体的に学べる構成になっている。各題材の最初に問いかけを設けており、生徒が主体的に鑑賞し、自然に対話が生まれるよう工夫されている。トレーシングペーパーに書き込んで作品への理解を深めたり、関連性の強い作品を比較して鑑賞できたりするような資料の工夫がされている。

「日本文教出版」は、「サブタイトル」、「メインタイトル」の提示や「作品解説」、「作者の言葉」を設けることで、課題解決にむけた「見通し」が持てるように構成されている。発想や構想の手立てとして、作家やアーティストの思考のプロセスを例示している。鑑賞図版の原寸大や観音開きの見せ方、実際の色に近づけた高精細印刷により、造形的な視点を豊かにするための実感を伴った理解が進む工夫がされている。教科書全般を通し、様々な立場で活躍する人々の考え方が示され、生徒が作品をより良くするヒントとなっている。キャリア教育や人生や社会を豊かにする美術の力について考える題材が掲載され、広がりのある構成となっている。

選定の結果、最も適しているものとして「光村図書出版」、次に適しているものとして「日本文教出版」の2者を推薦する。選定理由は、多様な生徒作品や制作過程の掲載、作者の言葉を提示することで、学習の流れが分かりやすく、「学び創造アクティブPLUS」が目指す、主体的・対話的で深い学びの展開に適切な編集となっている。さらに、生徒が創造活動の喜びを味わいながら、感性を豊かにし、基礎的な能力を伸ばしたり、美術文化への理解を深めたりするために必要な工夫がされている点で優れていると判断した。

以下、質疑・意見。

(吉本委員)

「光村図書出版」は、生徒の意見や鑑賞能力、問いかけなどを重視して、生徒に表現することを求めすぎているように感じます。私も美術について、いまだに分からないし、新しい解説を聞くと、そうだなと思いますし、ましてや中学生は、初めてそういうものに入ろうとするのに、少し負担感が強すぎるのではないかという気がします。そのような点でいくと、「日本文教出版」は、作家やアーティストの考え方を知って、そこからスタートするように

作られているので、「日本文教出版」を推薦したいと思います。

(宮本委員)

「日本文教出版」を推薦したいと思います。一流の作品と子どもたちの作品が織り交ざっていて、子どもにしてみると「こんな立派な作家の作品のようにはできないけれど、これくらいならチャレンジできるんじゃないか」という意欲の湧く構成になっている印象を受けました。また、11ページに所沢市の生徒が表彰を受けた作品が掲載されていて、これを見て「このような作品を作っている人が身近にいるんだ」と思う子もいると思うので、そのような点で推薦したいと思います。

(寺本委員)

「日本文教出版」を推薦したいと思います。3冊で構成されているのですが、阿修羅像などが載っている3冊目を修学旅行に持っていくといいなと思いました。また、美術というと、どうしても絵や彫刻という風になりがちですが、この教科書は、動画編集についても取り上げています。動画もきちんと美的センスが要求されるものですので、そのような点で良いと思いました。あまり考えさせるものより、分かりやすい方が良いと思います。

(中川教育長職務代理者)

「光村図書出版」はとても分かりやすいのですが、国語科分野が得意なためか、言語表現に重きを置きすぎているように感じます。もっと子どもたちの自由な発想をアートの世界に開放するというよりも、きちんと説明してあげようという意識が少し強めかなという印象を受けました。また、動画など、これからどんどん広がっていく勢いを大切にしてくれるのは、「日本文教出版」の教科書かなと思いました。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「光村図書出版」の「美術」、「日本文教出版」の「美術」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、
「日本文教出版」の「美術」が候補となりました。

《保健体育》

選定委員会委員の鈴木東所沢小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「東京書籍」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、学習内容が2ページで構成され、「見つける」の導入、「学習課題」から「課題の解決」、最後に「広げる」の4ステップで示され、課題解決的な学習が進められるようになっている。各章の扉では小・中・高、道徳との関連が分かるように明記されている。章末資料が充実しており、今日的な課題、発展的な資料があり、「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」が設けられている。

「大日本図書」は、学習内容が左ページに本文、右ページに資料が配置され、「学習のねらい」「つかもう」「やって・話し合って・調べてみよう」「活用して深めよう」の流れで示されている。章末の資料では、学びを生かそう、学習のまとめ、で構成され、自分の考えを書く、重要な言葉を確認できるようになって

いる。

「大修館図書」は、「今日の学習」で何を学ぶのかが明確化され、「課題をつかむ」「身につける・考える」「学習のまとめ」で構成されている。章のまとめでは、知識、技能の定着、思考力、判断力、表現力の定着、学びを自分の課題として生かすようになっていきます。SDGs（持続可能な開発目標）を体育的視点に取り入れている。

「学研教育みらい」は、導入の内容が、活動的なものや、話し合い活動が多く、教科書に書き込む場面が取り入れられている。また、学習の目標が示されていて、何を学ぶのかが明確化されている。実習や「探究しようよ」が充実しており、章のまとめは「振り返えろう」「確かめよう」「生かそう」「生活への活用」の習得した知識を生かす学習となっている。

選定の結果、最も適しているものとして「東京書籍」、次に適しているものとして、「大日本図書」を推薦する。「東京書籍」を推薦する理由は、次の4点である。一つ目は、生徒が見通しを持って学習に取り組めるように、学習の流れが4ステップで示され、課題解決的な学習が進めやすい構成になっていることである。二つ目は、章末資料が充実しており、「確認の問題」「活用の問題」「日常の生活に生かそう」を通して、学んだ知識をさらに深めることができるようになっている点である。三つ目は、独自のデジタルコンテンツが充実しており、資料も多く、発展させやすい構成になっていることである。四つ目は、学習課題が明確に示され、資料を活用した学習を進めていく中で、基礎的・基本的な学習内容を定着させることができるよう工夫されているところである。学校研究においても、見通しがつけやすいレイアウトであり、写真や図、イラスト、文章の分量もバランスよく、コンテンツ資料も充実しているとの報告がある。

次に「大日本図書」を推薦する理由は、次の4点である。一つ目は、紙面構成が本文と資料掲載に明確に分けられており、内容が精選され、ポイントが絞られていることである。二つ目は、スポーツの魅力が溢れるキャッチフレーズや写真が多く、オリパラや健康、食事、スマホとの付き合い方等、現代的なテーマの口絵が充実しているところである。三つ目は、巻末の「学びを生かそう」では、自分の考えを書くことを通して、より学習を深められるような工夫がされていることである。四つ目は、学習内容をより深めるためのイラストや写真、ミニ知識や

トピックスが適所に設けられ、生徒が学びたくなる資料が充実しているところである。学校研究においても、1単元の授業の流れが分かりやすく、説明が丁寧であるとの報告がある。

以下、質疑・意見。

(中川教育長職務代理者)

「東京書籍」を推薦します。保健体育の教科書を見たときに、毎回とても見やすい印象を受けるのが「東京書籍」です。また、デジタルコンテンツに非常に力を入れていて、これから先、絶対に必要になってくる項目だと思imasるので、その姿勢も後押ししたいという意味もあって、推薦したいと思imas。

(吉本委員)

「東京書籍」は内容もとても素晴らしいし、深読みされていて良いと思うのですが、中学生は他にも学ぶことがたくさんあるので、中学生にこれだけの量が必要かという思いがあります。そういう意味では、「大日本図書」が適量で良いと考えます。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(宮本委員)

「学研教育みらい」を推薦したいと思imas。理由は、資料が見やすかったり、さりげないイラストが内容をうまく表現していたりして、文章ではなく絵を見たときに印象に残るような工夫がされている印象を受けました。また、感染症について分かりやすく取り上げている点も良いと思imas。

(寺本委員)

私も「学研教育みらい」を推薦するか迷っていました。「学研教育みらい」は、イラストが分かりやすいです。ボリュームはそれほどないのですが、私が注目した

犯罪防止の観点では、説明が十分に満たされていると思われました。

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい保健体育」、「大日本図書」の「中学校保健体育」、「学研教育みらい」の「中学校保健体育」3者が決まりました。候補となった3者の中から投票により、1者を選ぶということではよろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」、3番目にふさわしいと思うものに「3」とご記入ください。1位は3点、2位は2点、3位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、
「学研教育みらい」の「中学校保健体育」が候補となりました。

《休憩 午後4時10分～午後4時20分》

《技術・家庭（技術分野）》

選定委員会委員の岩間所沢中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「開隆堂出版」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、「技術の最適化」の考え方に基づく課題解決の仕方について、漫画を使用して見通しを立てやすくするように工夫されている。また、内容のまとまりごとに、テスト形式の「学習のまとめ」が設定されており、学んだことを観点別に確認することができるようになっている。

「教育図書出版」は、実習例に写真やイラストで手順が示され、生徒が見通しを立てて問題解決的な学習に取り組めるように工夫されている。書体はユニバー

サルデザインフォントが使用されている。重要語句は文字の色や字体を変えて表記され、配慮を要する生徒にとっても、分かりやすく見やすい工夫が施されている。

「開隆堂出版」は、技術の「見方・考え方」を、「工夫」「技術のしくみ」「科学的な原理・法則」の3つに分けて、生徒自身が思考を広げ深める視点を明確に表現している。各内容とも、実習の見通しを立てやすくするために、「問題の発見と課題の設定」「設計・製作（制作・育成）」「評価・改善」の共通化された流れによる実習例となっている。

選定の結果、最も良いものに「開隆堂出版」、その次に良いものとして「教育図書出版」の2者を推薦する。推薦理由としては、先ほどの説明に加え、3者ともに今回の学習指導要領に示された技術における改善事項である「問題解決の学習過程」を重視するような構成となっているが、「開隆堂出版」は、各内容、及び学習の中心となる実習に、共通化された問題解決の過程が分かりやすく組まれていること、「教育図書出版」は、各内容とも生徒が見通しを立てて、分かりやすく問題解決的な学習に取り組めるようになっていること等が挙げられ、本市の子どもたちにとって、より主体的・問題解決的な学習ができると判断したからである。なお、2者には、推薦の度合いに若干の差があった。

以下、質疑・意見。

（寺本委員）

プログラミング学習について比較してみたのですが、「開隆堂出版」は、270ページ台から、こういうページがあります、という解説と、プログラミング言語の種類等が280ページに出ていて、286ページで実際の画面がやっと出てきます。この方が使いやすいのかというところですが、「教育図書出版」は、240ページからいきなり入力した状態のページが出てきます。うまくいかない子にとっては、この方が、自分がどこでつかえているのかが分かりますし、理想的にはこのような状態にもっていければいいんだな、という具体例が出ていた方が分かりやすいのではないかと思います。このようなページが教科書に出てくると、授業しないわけにはいかないという期待が持てます。また、別冊でも、プログラミング言語の要点が載っていて、将来、高校で情報教育が入ってきて、プログラムが出てきたときや就職して携わることになったときに、基本的な知識として、このようなページを見ているかどうか、「開隆堂出版」のように解説のみの内容で学習したときと比べて、随分リテラシーが

変わってくるのではないのでしょうか。

所沢市のパソコンを使った教育についてですが、私の知る限りでは、自主的な先生方の研究でプログラムを取り入れた研究を行っているのは、小学校の方が多いです。せっかく小学校でやってきたことを、中学校でこのページがあることで、「先生これは？」という質問がいくだけでも、私は違うと思います。「開隆堂出版」のように後ろの方にさらっと専門的な感じのページが連続して終わるよりは、これは授業で取り上げなければという形になっていた方が、子どもたちが小学校で学んできたことを、中学校の先生は引き継げると思います。

別な視点では、「教育図書出版」の45ページで、寸法記入の約束ごとが載っていて、正しい記入方法と誤った記入方法が示されています。このようなページがあることで、就職したときに、先輩から「そんなことも知らないのか」と言われなくて済むのではないかと思います。このような細かい部分は、面倒見が良い作りになっていて良いと思います。

(中川教育長職務代理者)

寺本委員に伺いますが、「東京書籍」についてはどのような印象をお持ちですか。

(寺本委員)

プログラミングについて、「実際に入力していくと、このような画面になりますよ」という作りになっているのは、「教育図書出版」しかありませんでした。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「教育図書出版」の「New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する」、「開隆堂出版」の「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票

により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は3点、2位は2点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、

「開隆堂出版」の「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」が候補となりました。

《技術・家庭（家庭分野）》

選定委員会委員の結城美原中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「開隆堂出版」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、学習内容ごとに「目標」を明示し、「考えてみよう」「やってみよう」など、生徒の興味・関心を引く導入部分が、課題発見につながる学びとなるように構成されている。また、巻末には「言葉のページ」があり、家庭分野の学習と関わる独特な言い回しや名称を解説している。さらに、手ばかり、目ばかりの食品見本が実物大の写真で示されたり、実習例、参考例、簡単もう1品などレシピが書かれていたり、より実践的な活動を行う工夫がなされている。

「教育図書出版」は、学習内容ごとに「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」の流れで展開されており、生徒が見通しをもって学習をすることができるように構成されている。また、重要語句を青色の太字で表示したり、写真や絵の色使いをはっきりさせたり、視覚的な配慮がなされている。さらに、「やってみよう」「話し合ってみよう」などの項目では、グループでの活動を設け、主体的・対話的な活動から、課題解決をしていくことを通して、より思考が深まるように工夫がな

されている。

「開隆堂出版」は、学習内容ごとに「生活にいかそう」「ふり返り」「学習のまとめ」など、教科書に直接書き込みながら、自分の考えや理解を確認できるよう構成されている。また、見開き全面に写真や図のページがあり、視覚的に興味・関心を引いたり、理解できるようにしたりしている。さらに、調理実習例には、調理方法 Q&A があり、科学的根拠を示しながら、調理方法のこつを示したり、アレルギー物質を含む食材を黄色で表示したり、生活に生かせるよう工夫がなされている。

選定の結果、最も適しているものに「開隆堂出版」、その次に適しているものとして「教育図書出版」の2者を推薦する。「開隆堂出版」を選定した理由としては、次の3点が挙げられる。学習内容ごとに、教科書に直接書き込みながら、自分の考えや理解を確認できるよう構成されている。様々な例も示され、学びの過程が分かりやすく、なおかつ生活に生かせるよう工夫されており、経験の浅い教員にも活用しやすい。二次元コードが細かく配置され、学んだことを家庭でも実践できる。

次に「教育図書出版」を選定した理由としては、次の3点が挙げられる。学習内容ごとに、生徒が見通しをもって学習をすることができるように構成されている。グループでの活動を設け、課題解決をしていくことを通して、主体的・対話的で深い学びができるように工夫がなされている。指導内容が厳選されており、教員によって指導の工夫がしやすい。

終わりに、選定委員会における選定結果において、2者には推薦の度合いに若干の差が見られた。

以下、質疑・意見。

(清水委員)

教科書に書き込んでいくという作業には、自分と教科書をつないでくれるという要素があると思いますので、教科書に書き込める作りになっている「開隆堂出版」のスタイルは、魅力的だと思いました。

(寺本委員)

「教育図書出版」は、安全面について丁寧に説明されています。保育で施設実習に行った際に、「幼児とふれあうときには、このようなことに気をつけよう」ということがイラスト

で描かれています。若手の先生が、保育に関する授業をするうえでは使いやすいと思います。また、技術・家庭は、器用・不器用が実技に影響する教科だと思imasるので、そのような点で、「教育図書出版」は、調理の失敗例を出して、不器用な私が生徒の立場としてほしいのは「教育図書出版」の教科書です。

(宮本委員)

「開隆堂出版」は、「自立と共生を目指して」というテーマを掲げています。子どもたちに、自立と共生を目指すとはどういうことなのか、ということを考えながら教科に臨み、学んでもらえたら、いいバイブルになる教科書なのではないかという印象を受けました。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「教育図書出版」の「New 技術・家庭 家庭分野 明日を創造する」、「開隆堂出版」の「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は3点、2位は2点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、
「開隆堂出版」の「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」が候補となりました。

《外国語（英語）》

選定委員会委員の結城美原中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「開隆堂出版」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、各単元の扉で、Point of view（学びの視点）を示し、Previewで、新出文法を導入し、二次元コードによる動画で目的場面の状況を表している。そして、Read and Think により、3段階読みの流れを示し、表現する力を育成する構成になっている。小中の接続の視点からは、入学から夏休み前までの期間にかけて、小学校で慣れ親しんだ表現を多く使い、聞く活動や話す活動から授業に入り、小中接続期を充実させている。また、2次元コードが多く掲載され、内容関連の音声データが豊富であり、家庭学習や自学自習の際にも有効に活用できます。

「開隆堂出版」は、単元の構成が大きく変わった。各単元は、6つの構成になり、目標の提示 習得 思考 表現 まとめの流れで学習できるようになっている。また、言語活動が充実している。小中の接続の視点からは、場面シラバスで導入されており、学年が上がるにつれて、題材が身近な場面から社会的な場面で活用できるように発展している。特徴として、目標から逆向きデザインでの指導計画が立てられるようになっている。2次元コードは、解説ムービーや音声はもとより、会話のモデル動画やプログラム、題材の紹介動画も用意されており、また、巻末のアクションカードも充実している。

「三省堂」は、単元の構成については、Lesson の最初に題材や場面に関する絵や写真、動画、Q&A があり、工夫されている。各 Lesson は、基礎・基本的な知識・技能の習得から活用へと学びのプロセスを「見える化」している。小中の接続の視点からは、1年生では、小学校で学んだ言葉の使用場面、アルファベッ

トと文字の読み方、語句や表現を振り返ることができる。特徴として、学期末学習では、様々な言語活動が設定され、振り返ることができるようになっている。

「教育出版」は、単元の構成については、各 Lesson が3つの Part で構成されており、最後にある Review、Task、Grammar のコーナーで Lesson 全体を通じた本文内容や語彙の確認、言語材料の統合的な活用に取り組むことができる。小中の接続の視点からは、1年生の3までは音声中心の活動を見開き単位で行い、学校生活や家庭生活といった身近な話題から扱っている。特徴として、既習事項を使ったやりとりやチャット、スピーチに取り組む Activities Plus がついている。

「光村図書出版」は、単元の構成については、本文は3年間のストーリーを通じて、各 Unit は扉、3つの Part と Goal という構成になっている。扉で単元目標や学習の見通しを立てたのちに、各 Part で基本的な知識・技能を習得し、Goal で統合的な活動に取り組めるよう構成されている。特徴として、実生活に即した多様なコミュニケーションの場面や題材について、それぞれの場面で必要とされる領域に焦点を当てて学習することができる。また、2次元コードでは、音声のほか、本文ストーリーのスライドアニメも繰り返し視聴することができる。

「啓林館」は、単元の構成については、各 Unit の初めに単元の目標を確認し、2、3年生の教科書では Unit の扉を設け、写真でテーマについて確認できるなど、生徒の意欲喚起につながる工夫をしている。各 Part は3部構成となっていて、基礎的な知識・技能の習得から活用へとスモールステップで学習できる構成になっている。小中の接続の視点からは、1年生の教科書は小学校との連携に配慮した構成になっていて本文も対話文中心です。特徴として、本文の状況や内容を示すイラストや写真、図表等も魅力的なものを取り入れて、活用しやすいよう配置が工夫されている。

選定の結果、最も適しているものに「東京書籍」、その次に適しているものとして「開隆堂出版」の2者を推薦する。「東京書籍」を推薦した理由は、次の3点である。1点目の理由は、聞く話す活動から授業に入り、書く活動を重視し、小中接続期の充実を図っている。2点目の理由は、2次元コードが充実し、新出文法の導入を動画により目的や場面の状況を表し、気づきを促し、自学自習や家庭学習の意欲喚起にもつながる内容になっている。3点目の理由は、見開き1ペ

ージで、1つの文法事項と新出単語、英文とアクティビティが配列され、教える側にとっては、従来の流れがあり、指導しやすい。また、苦手意識のある生徒にとっては、写真や絵、ヒントが多く、学びやすく、自ら取り組みやすい構成になっている。

次に、「開隆堂出版」を推薦した理由は、次の3点である。1点目の理由は、とびらで目標を提示、Scenesで新出表現を習得し、Thinkで題材内容について思考し、Retellで自分の言葉で表現し、Interactで即興表現をし、最後にまとめると構成されている。2点目の理由は、小中接続を意識し、場面シラバスで導入されており、学年が上がるにつれて、社会的な場面での活用ができるように発展している。3点目の理由は、2次元コードが充実しており、学習の補助、家庭学習のヒントにつながる動画が用意されている。

終わりに、選定委員会における選定結果において、2者には推薦の度合いに若干の差があった。また、学校研究においては、「東京書籍」より、「開隆堂出版」を指示する学校が見られた。

以下、質疑・意見。

(中川教育長職務代理者)

「東京書籍」を推薦します。「開隆堂出版」は、とっつきやすく良いのですが、会話文に重きを置き過ぎていて、一つの会話が長い印象を受けます。「東京書籍」は、会話文がすっきりした短い文で説明されていて、メリハリがついていて分かりやすいと思います。また、「開隆堂出版」は、説明文や意見文が1年生では取り上げられていないのですが、「東京書籍」は取り上げています。

(吉本委員)

学校研究における先生方からの意見を見ると、「開隆堂出版」は、使い慣れているからという意見が多く見られます。慣れているからということが、正当な推薦理由になるのか、という思いがあります。常に変化することを拒まずに取り組んでほしいと思います。

(寺本委員)

「開隆堂出版」の教科書は、内容が激変していますので、使い慣れているという理由で、この教科書を選んだとしたら、その先生は内容をよく見ていないと思います。これまでとガラッと変わっているので、先生は今までのパターンが取れ

ないと思います。「開隆堂出版」は、活動を重視していて、Scenes・Retell・Interactの部分が主な活動的な内容で、Thinkの部分も会話文が長いという印象は受けません。

「開隆堂出版」を推薦したい理由は、Scenesの内容がとても面白くできていることです。この内容をロールプレイングのようにやったら、そこで使われている表現を絶対に忘れないと思います。イラストの表情まで記憶して、その表現を忘れないと思います。また、Retellの部分では、自分で話せそうなものを選んで、とにかく英語を話してみようよ、という内容に特化しています。Interactは応用的で、この部分では頭を使います。全体の構成として、「東京書籍」は、いつもの「東京書籍」らしくなく、ページがごちゃごちゃしている印象です。それに対して「開隆堂出版」は、必ずThinkやRetellがトップに出てきて、英語のしくみという文法事項の説明も、少ない文字で色を使ってうまく説明しています。私は「開隆堂出版」のこの画期的な脱皮をぜひ指示したいと思います

こういう教科書を使って英語の授業を行っているところに、別な教科書で学んだ子が行ったとしたら、かなりカルチャーショックを受けるとと思います。逆に、この教科書で学んで、別なところに行った場合、余裕で英語の授業を受けられると思います。先生についても同様です。

(清水委員)

英語というのは、学ぶより慣れるものと聞いたことがあります。1 + 1 = 2 というように、答えを求めて学んでしまうと、恐れ多くてなかなか話せなくなってしまうのですが、まずは、言いたいことを英語にしやすい日本語に直すという作業が必要だそうです。「なるほど、そういう言い方だったら英語で言えそうだな」と思っても、正しい文法に合った言い方をしようとすると固まってしまって話せなくなってしまうものです。そんなときは、小学校で習ったレベルの単語をうまく使って言えばいいんだという話も聞いたことがありますので、自分の言葉で表現し、即興表現をして、という流れのある「開隆堂出版」を推薦したいと思いました。

(宮本委員)

「開隆堂出版」を推薦します。領域別教材数の比較を見ると、「話すこと」についての教材数が他の発行者よりも多いので、自分を表現することを身につけていってもらえるのではないかと思います。また、各学年に絵本の英訳が掲載されているので、小さい頃に慣れ親しんだ話が、英語になるとこのように表現されるんだとい

うことが分かり、興味が深まると思います。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(吉本委員)

調査研究の「教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか」という評価項目の内容が、最も多岐に渡っていることから、私は「啓林館」を推薦したいと思います。

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「NEW HORIZON English Course」、「開隆堂出版」の「SUNSHINE ENGLISH COURSE」、「啓林館」の「BLUE SKY English Course」の3者が決まりました。候補となった3者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」、3番目にふさわしいと思うものに「3」とご記入ください。1位は3点、2位は2点、3位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、

「開隆堂出版」の「SUNSHINE ENGLISH COURSE」が候補となりました。

《特別の教科 道徳》

選定委員会委員の垣内小手指小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は「日本文教出版」である。はじめに、発行者一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」では、各教材に「考えさせたい観点」が分かりやすい言葉で書かれており、道徳的価値について理解を深める工夫がなされている。役割演技などの手立て「ACTION」コーナーでは、話し合いを通して考えが深まるよう工夫されている。巻末の「心情円」が切り取り式となっており、相互理解につなげることができる。

「教育出版」では、内容項目について直接的な表記をせず、教材名の下にどんなことを考えていくのか、意識づけをする問いがある。教材の最後には「学びの道しるべ」で内容項目の発問が掲載され、道徳的価値について理解を深める工夫がされている。巻末の「道徳の学びを記録しよう」を自分の成長を実感できるように工夫されている。

「光村図書出版」では、めあてが明確で、生徒が「どう学ぶのか」「なぜ学ぶのか」を意識できるよう工夫されている。「考えよう」で道徳的な価値の問い、「見方を変えて」で価値を深める問い、「つなげよう」では価値の一般化した問いで、学びを深める工夫がされている。「深めタイム」は学びが日常生活につながるよう工夫されている。

「日本文教出版」は、教材ごと「考えてみよう」で、考え・議論し、「自分に+1」では授業で学んだことを前向きに生かす問いがある。教材は生徒が見通しを持てるよう工夫された構成になっている。別冊「道徳ノート」に友達の意見と自分の意見を対比できるよう工夫されている。いじめが起こりやすい時期に、「いじめ防止ユニット」を配置している。

「学研教育みらい」は、絵や写真を見やすく提示し、興味や関心を高める工夫がされている。主題名を表示しないことで、特定の価値観を押しつけることなく、自ら問題意識を持ち、生き方について考えを深めるように工夫されている。主体的・対話的で深い学びを実現させるために、特設ページで学んだことを考えが広げられるようになっている。

「廣済堂あかつき」は、「めあて」は、「学習のてがかり」に明示されている。「考えを広げる・深める」は、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、生き方について考えを深める学習ができるようにしている。別冊「道徳ノート」で豊かな情操と道

徳心を培うよう工夫されており、学習の記録を記入できるようになっている。

「日本教科書」は、多様な価値観を受け入れる心を育てることを重点として身近な事例で自分を振り返る事ができる教材を掲載している。内容項目別に教材を配置し、教材毎に「考え話し合ってみよう」「そして深めよう」を設け、自己の生き方を見つめ、自分のこととして捉え、多面的・多角的に考えさせる工夫がされている。

選定の結果、最も適しているのは「日本文教出版」である。つぎに適しているのが「学研教育みらい」である。「日本文教出版」は、「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3ステップで1時間の学習に見通しをもって取り組める。それぞれの教材で「何について考えるのか」が明示されており、導入としても活用ができるようになっている。教材ごとに「自分に+1」を設け、授業で学んだことを前向きに自分に生かすための発問例が示されている。別冊「道徳ノート」の活用により成長を実感でき、また授業の記録を蓄積でき、評価に結びつけることができる。さらに、本市の課題である「いじめ防止」を重点とした構成であり、いじめが起りやすい時期に「いじめ防止ユニット」がある。選定委員の多くが推薦に賛成した。

次に「学研教育みらい」は、絵や写真、図やグラフを見やすく提示し、教材や学びに対する生徒の興味や関心を高める工夫がされている。主題名を表示しないことで、生徒が主体的に考え、意見を交換することができる。その中から様々な考えに触れ、学び合うことができるようになっている。生徒の自由な発想を促し、豊かな学習ができるよう工夫されている。「いじめ防止」に関する教材では、情報モラルと関連づける等、間接的教材も扱われている。ワークシートに自己評価欄があり、振り返りやまとめができる。また、書き込み欄を活用することで、評価に結びつけることができる。先に説明した「日本文教出版」に比べると、推薦の度合いは高くない。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

引き続き「日本文教出版」が良いと思います。前回この教科書を選んだ理由が、いじめに関する記述がかなり充実していて、重点的であるということだったと思いますが、それがより鮮明になっている形で、各学年の早い段階、4月・5月に扱う教材で、いじめに関する内容が出てきます。本当にその学年で起りそうないじめのパターンが使われています。また「道徳ノート」に、必ず、友達の意見や話し合いをメモしようということが入っています。「これが模範解答ですよ」と自分の意見だけ書いて終わってしまうのではなく、自分と違

和感のある意見や普段あまり発言をしない子が興味深いことを言ったことを書くというのは、とても大事なことです。もし、道徳の授業が自習になった場合でも、必ず友達の意見を聞かなければならない作りになっています。対話から成り立つ授業という点でも優れていると思いますし、使われている話が感動的であったり、味わいがあったりする文章が多いという印象も受けました。

(中川教育長職務代理者)

寺本委員の意見に共感する部分が多くあります。「学研教育みらい」の明確な主題を先に示さないスタイルは良いと思います。「日本文教出版」は、友達の意見も聞くという形で、一つの主観に陥ることなく、色々な視点が醸成されるという点で優れていると思います。

(清水委員)

道徳で学んでほしいのは、多様な価値観を認めるということです。最近、LGBTという言葉が聞きますが、そういう人たちの存在をきちんと認めて、その人の特徴であるということを受け入れられるような人間に育ててほしいという思いがあります。自分と違う人間を排除するということが、いじめの根本にはあると思いますが、多様な価値観を認め合う授業を展開できる教科書ということで「日本文教出版」を推薦したいと思います。

(大岩教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(大岩教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(大岩教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「日本文教出版」の「中学道徳 あすを生きる」、「学研教育みらい」の「新・中学生の道徳 明日への扉」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(大岩教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は3点、2位は2点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

《投票》

(大岩教育長)

それでは、投票の結果、
「日本文教出版」の「中学道徳 あすを生きる」が候補となりました。

(大岩教育長)

以上で16種目全ての審議が終わりました。審議の結果、令和3年度使用中学校用教科用図書については、次の教科用図書を原案といたします。

国語	「光村図書出版」	「国語」
書写	「光村図書出版」	「中学書写」
社会（地理的分野）	「東京書籍」	「新しい社会 地理」
社会（歴史的分野）	「東京書籍」	「新しい社会 歴史」
社会（公民的分野）	「東京書籍」	「新しい社会 公民」
地図	「帝国書院」	「中学校社会科地図」
数学	「啓林館」	「未来へひろがる数学」
理科	「啓林館」	「未来へひろがるサイエンス」
音楽（一般）	「教育芸術社」	「中学生の音楽」
音楽（器楽合奏）	「教育芸術社」	「中学生の器楽」
美術	「日本文教出版」	「美術」
保健体育	「学研教育みらい」	「中学校保健体育」
技術・家庭（技術分野）	「開隆堂出版」	「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」
技術・家庭（家庭分野）	「開隆堂出版」	「技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生」
外国語（英語）	「開隆堂出版」	「SUNSHINE ENGLISH COURSE」
特別の教科 道徳	「日本文教出版」	「中学道徳 あすを生きる」

令和3年度使用中学校用教科用図書について、大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり採択された。

前述のとおり採択された令和3年度使用中学校用教科用図書と併せて、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条に基づき、来年度に本年度のもの継続使用が決まっている小学校用教科用図書について、大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

(大岩教育長)

これをもちまして、本議案についての審議を終わろうと思いますが、何か追加事項等がありますでしょうか。

(岩間所沢中学校長・選定委員会委員長)

選定委員長として、本日の質疑における選定委員の回答について、一部訂正とお詫びを申し上げます。

国語の質疑において、選定委員からの回答の中で、学校からの意見を参考にしていないかのように受け取られる旨の発言がありましたが、初めの説明で私から申し上げたとおり、市内中学校全ての学校研究の結果、教科書展示会参加者からのアンケート、保護者代表の方からのアンケート、全てを含めて総合的に判断しておりますので、訂正とお詫びを申し上げます。

《休憩 午後5時20分～午後5時30分》

《傍聴者 退室》

議案第6号 令和2年度教育委員会予算(9月補正)について【非公開】

《削除》

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

1.1 その他

学校教育課からの報告【非公開】

- ・3年間の中学生の命にかかる重大事案について
- ・人事案件について
- ・新型コロナウイルス感染症にかかる追加報告について

以下、質疑。

《削除》

今後の日程

- ・教育委員会会議8月定例会：8月21日(金)教育センター
- ・学校視察：8月21日(金)
- ・教育委員会会議9月定例会：9月18日(金)教育センター
市議会の日程により変更の可能性あり
- ・教育委員会会議10月定例会：10月28日(水)教育センター
- ・学校視察：10月28日(水)
- ・教育委員会会議11月定例会：11月25日(水)教育センター
- ・教育懇談会：11月25日(水)

1.2 閉会 午後6時25分